

東国分中学校ブロック

第 1 1 回 義務教育学校の設置に関する検討委員会

令和 4 年 7 月 2 9 日（金） 1 7 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0
市川市立東国分中学校 技術室

第 1 1 回検討会の主な内容

- 令和 3 年度に実施した意識調査のまとめについて
- プロジェクト会議で話し合われた内容について
- ふるさと探究科部会について

<本日の次第>

- 1 委員長挨拶
- 2 石塚統括校長挨拶
- 3 自己紹介（委員及び事務局）
- 4 報告
 - (1) 令和 3 年度の意識調査のまとめについて（別冊資料）
 - (2) プロジェクト会議について
 - (3) 3 校で実施した取り組みについて
 - (4) 今後、実施する予定の取り組みについて
- 3 その他

東国分中学校ブロック 第 1 2 回義務教育学校の設置に関する検討委員会の予定
○日時：令和 4 年 1 0 月 2 7 日（木）
○場所：市川市立東国分中学校

4 報告

(1) 令和3年度の意識調査のまとめについて（別冊資料）

○調査目的 東国分爽風学園の義務教育9年間を見通した教育活動の充実および各小中学校間の連携の推進に生かすため。

○対象 東国分爽風学園の児童生徒（小学3年生から中学3年生）、保護者および教職員

○実施期間 1回目 令和3年4月30日（金）から5月7日（金）

2回目 令和4年1月27日（木）から2月4日（金）

○回答数

	東国分中学校		曾谷小学校		稲越小学校	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
児童生徒	311	219	257	247	138	125
教職員	21	19	25	16	14	15
保護者	187	80	241	225	112	111

※1回目は紙面にて、2回目はweb上で実施

○調査内容（概要）

「東国分中学校ブロック小中一貫型小学校・中学校に関する基本計画」に基づき、以下の内容について意識調査を行いました。

<児童生徒の意識調査の要旨>

- ・教育課程の効果について
- ・教科担任制の効果について
- ・自己肯定感や思いやりの心の育成について
- ・問題行動の防止について
- ・中学校へ進学する際に係る不安（中一ギャップ）について（小学生のみ実施）

<教職員の意識調査の要旨>

- ・授業改善について
- ・児童生徒への理解の深まりについて
- ・協働体制の構築について
- ・校務の効率化や質的な向上について
- ・小中一貫教育の効果について

<保護者の意識調査の要旨>

- ・小中一貫教育の子どもへの効果について
- ・中一ギャップの緩和について
- ・自己肯定感や思いやりの心の向上について
- ・問題行動の防止について
- ・学力や学習意欲の向上について
- ・部活動や生徒会活動の活性化について
- ・小中の教職員の連携による児童生徒の理解の向上について
- ・小中の教職員の連携によって、教職員の負担軽減について
- ・小中一貫教育による、地域との連携強化について

(2) プロジェクト会議について

前回の検討委員会(書面開催)以降に実施されたプロジェクト会議は、以下の通りとなります。

検討してきた主な内容は、**専門部会の立ち上げについて**、**3校の教職員による合同研修について**、**グランドデザインの変更についての3点**です。(詳しくは、「①実施日時および内容等について」でご説明いたします。)

＜「プロジェクト会議」とは＞

○構成メンバー

- ・3校の教職員の代表(校長、教頭、教務主任等)

○目的

- ・東国分爽風学園で実施する小中一貫教育等の取り組みに関する協議

※参加メンバーは、協議内容を他の教職員に周知し、また教職員から出された意見を協議に反映

①実施日時および内容等について

・第10回 プロジェクト会議

日 時	令和4年4月27日(水) 9時30分から10時30分
会 場	市川市立東国分中学校
参加者	各小中学校…校長、教頭、教務主任 教育委員会…指導課、学校環境調整課の担当者
内 容	ア 年度確認した、今年度の検討事項について i 各教科での連携について ii 部活動について iii 小学6年生の中学校校舎での学習について iv 特別支援教育について イ 令和4年度のグランドデザインについて ウ 専門部会の立ち上げについて i (仮称)ふるさと探究科部会 ii その他の教科部会

・第11回 プロジェクト会議

日 時	令和4年6月29日(水) 9時30分から10時30分
会 場	市川市立曾谷小学校
参加者	各小中学校…校長、教頭、教務主任 教育委員会…指導課、学校環境調整課の担当者
内 容	ア ふるさと探究科部会について i 曾谷小学校で実施した、ふるさと探究科に関する研修内容の報告 ii 3校の担当で話し合った内容報告と、今後の予定 イ 3校の教職員による夏季研修会の実施について ウ グランドデザイン変更に関する進捗について

②専門部会の立ち上げについて

・「ふるさと探究科部会」の立ち上げについて

前回の会議（第9回）にて、各教科・領域や生徒指導、部活動等について、小中学校の先生方が直接話し合う組織「専門部会」を立ち上げ、そこで検討を進めていくことを確認しました。

まずは、4月からスタートした「ふるさと探究科」に関する部会を立ち上げることとし、部会への参加者を、「総合的な学習の時間」の主任の先生、教務主任の先生を中心とすることとしました。

検討の第1弾として、ふるさと探究科の「学習計画」を3校で作成することとし、その作成にあたって、教育委員会（指導課）で助言を行うこととしました。（詳しくは、次のページ「(3) 3校で実施した取り組み」で説明いたします。）

・3校の教職員による合同職員研修会の実施について

昨年度は、プロジェクト会議を中心に、実施できる内容について検討し、順次できることから実施してきました。

今年度は、より多くの先生方の意見や考えを吸い上げ、東国分爽風学園の取り組みに生かしていくため、夏休みの期間（8月下旬）を利用し、3校の先生方が一同に会して行う「合同職員研修会」を実施することとしました。

この研修では、3校の先生方の交流を深め、3校の児童生徒をどのように育てていくのかについて、願いや思いを共有することや、課題を解決するためのアイディアを出し合う予定です。

研修で話し合われた内容や様子については、次回の検討委員会にてご報告いたします。

・グラウンドデザインのデザイン変更について

令和4年度のグラウンドデザインについて検討しました。

<変更点>

学力向上の柱「新しい教科の設定」



新しい教科「ふるさと探究科」の実施

また、「グラウンドデザインをもっと見やすいように変更したらどうか」という意見がありましたので、今年度中にデザインの変更についても検討し、令和5年度のグラウンドデザインに生かしていくこととしました。

(3) 3校で実施した取り組みについて

①ふるさと探究科「学習計画作成」に関する職員研修の実施について（5月30日実施）

曽谷小学校にて、ふるさと探究科の「学習計画作成」に関する研修会を実施しました。

<教育委員会（指導課）の指導主事による説明>



学習計画の作成にあたり、教育委員会からは、

- ・ゴールが明確になっているか。
- ・子どもたちの「気になる」「何とかしたい」「解決したい」などの思いを引き出す内容になっているか。
- ・探求的な学習のサイクルになっているか。

以上の3つのポイントを意識して作成するとよいとの説明がありました。また、東国分爽風学園の地域には、授業を新たに作る上での素材（人材、自然、歴史、文化等）が多くあることから、これらの素材を活かした計画づくりを行っていくとの提案が、各学年の先生方からありました。

<低・中・高学年に分かれて検討>



低・中・高学年に分かれて、各学年の先生方が作成した年間計画を見合い、意見交換をしました。

その際、教育委員会の職員も話し合いに加わり、疑問や質問などについて答えていました。

また、「こんな発想で考えてみたらどうでしょうか」など、新たなアイデアを提案し、先生方の検討内容を深めていました。



先生方からは、「運動会で取り上げた沖縄の伝統的な踊り『エイサー』から、市川市やこの地域の伝統文化につなげていきたい」「社会科で学習した生活用水の学習から、春木川などの川の水質調査を行い、子どもたちに自分でできることを見つけてもらいたい」などの授業のアイデアが次々に出ました。

<動画で録画し、2校へ配信>



運動会等の学校事情により、東国分中学校と稲越小学校の先生方が参加できなかったことから、タブレットにて録画したものを保存し、3校の先生方がいつでも見られるようにしました。

②3校の「ふるさと探究科」担当者による専門部会の開催について（6月13日実施）

- 参加者 東国分中学校 教務主任（総合的な学習の時間担当）
 曾谷小学校 教務主任（総合的な学習の時間担当）
 稲越小学校 教務主任（総合的な学習の時間担当）および第6学年主任
 教育委員会 指導課および学校環境調整課担当者

○主な検討内容

ア 3校がそれぞれ作成した学習計画について、各学校の担当者から説明

曾谷小学校	・3年生…社会科の市川市の学習から、曾谷の魅力の発見と発信。 ・4年生…川や水、防災について学習から、春木川などの河川の学習を行う。 ・5年生…3、4年生より範囲を広げた「町じまん」や地域の工業や産業につなげる。 ・6年生…日本の伝統「和菓子」から、日本の良さに気づかせる。
稲越小学校	・3年生…梨づくりをメインに、稲越や市川市の歴史や伝統行事を知り、伝えていく。 ・4年生…地域の環境を知り、ごみ問題へとつなげていく。 ・5年生…米作りを中心に学習する。 ・6年生…縦割り活動を継続し、ふるさと探究科として探究活動を行う。
東国分中学校	・校外学習やキャリア教育と、ふるさと探究科の学習をつなげて実施していく。

イ 出された主な意見

- ・まずは小小で連携し、中学校での学習につなげていきたい。
- ・小学校のそれぞれで考えた学習計画の内容から、お互いの学習が深まるようにしていきたい。今後は、各学年同士で連携し、さらに内容を固めていきたい。
- ・「ふるさと探究科」という教科は、東国分爽風学園でしか実施していない特別な教科であり、国分小や中国分小など、近隣の関係する学校等に、取り組みを発信していくことが大切である。
- ・3校の児童生徒が、自ら交流活動を考え、形にできると良いのではないか。例えば、東国分爽風学園で成し遂げたい「夢」などを語る場を設けるなど。

次回は、各学年の先生同士が集まり、ふるさと探究科の内容を更に深めていくことになりました。
 また、学習内容については、小学校2校で同じ取り組みができるよう、各学年で検討を進めていくこととしました。

③曾谷小学校と稲越小学校の代表委員会の児童による顔合わせ会について（7月6日実施）

オンライン会議システム（チームス）を使い、2校の代表委員会の小学生が初めての交流を行いました。

交流の内容としては、お互いの自己紹介や、それぞれが実施している代表委員会としての活動内容の報告を行いました。今後は、2校合同で「あいさつ運動」など実施していくことを確認しました。



＜曾谷小の代表委員長挨拶＞
「稲越小学校と一緒に、仲良く活動していきたいです」

活動内容報告

- ・ 1年生を迎える会
- ・ 運動会
- ・ あいさつ運動



＜稲越小の代表委員長挨拶＞
「曾谷小学校の皆さん。これから一緒に活動していきましょう」

活動内容報告

- ・ 全校遠足
- ・ 運動会
- ・ みどりの羽募金
- ・ 打ち水大作戦
- ・ あいさつ運動



最後は、お互いに手を振りながら、委員会を終えました。

(4) 今後、実施する予定の取り組みについて

①ふるさと探究科以外の専門部会の立ち上げについて

昨年度、小中で連携できそうな教科として、「英語」と「体育」を検討しました。

第10回のプロジェクト会議において、中学校の先生から「小学校の実態や、小学校の先生から何を求められているかを知りたい」との意見がありました。



まずは、各教科・領域の担当者同士で打ち合わせをすることとしました。

※「(2) プロジェクト会議について」にて説明をした「合同職員研修会」を実施し、3校の先生方の交流を深めた後に行うこととしました。(10月を予定)

②中学校の教員による、小学6年生の乗り入れ授業（算数）の継続について

昨年度、11月から12月にかけて実施した、中学校教員による小学6年生の乗り入れ授業（算数）について、今年度も継続して実施することとなりました。



7月に「分数÷分数」の内容を実施しました。9月も「比とその利用」の内容で実施する予定です。

③「ちばSDGsパートナー登録制度」への申請について

千葉県では、令和3年度に県内の企業等におけるSDGs推進の機運を醸成するとともに、具体的な取り組みを後押しするため、「ちばSDGsパートナー登録制度」を創設しました。



東国分爽風学園では、ふるさと探究科の学習を通して、SDGsに取り組むこととしていることから、この制度に登録し、SDGsへの取り組みの意識を更に高めていくこととしました。

<制度の概要>

対 象	千葉県内に事務所棟を置く企業、団体、教育機関、学校法人、特定非営利活動法人、個人事業主など
登録要件	・環境、社会、経済の3側面において、具体的な取り組みを推進すること。 ・各取り組みについて、具多的な目標が設定されていること。
登録による メリット	・SDGsの達成に向けて積極的に取り組む企業、団体等として、千葉県のホームページ等で紹介する。 ・登録対象は、チーバくんを活用した千葉県SDGsシンボルマークを、名刺や開所案内等に活用することができる。 ・低利の県制度融資（ちばSDGsパートナー支援資金）による支援を受けることができる。